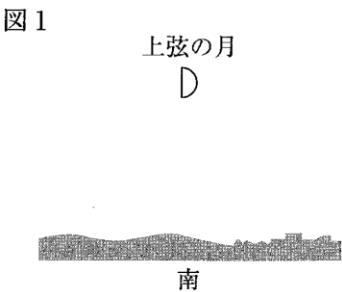


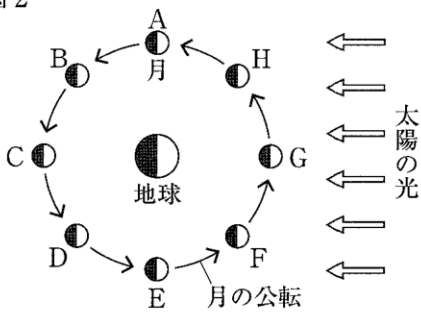
(1) ある日、南の空に図1のような上弦の月が見られた。これについて次の各問いに答えなさい。



① 図1の1時間後に、同じ場所から観察すると、月の見える位置が変化していた。次の文は、1時間後に月が見えた位置と、月の見える位置が変化する理由を説明したものである。文中の| |にあてはまるものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。

1時間後に、月は_a|ア 東 イ 西|に移動して見えた。これは、地球が地軸を中心に
_b|ア 東から西へ イ 西から東へ|自転しているためである。

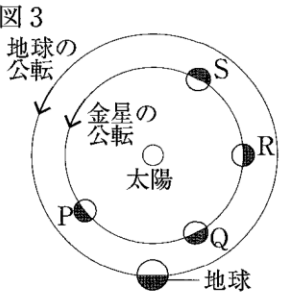
② 図2は、地球と月の位置関係および太陽の光の向きを模式的に表したものである。図1のような上弦の月が見えるとき、月は図2のA～Hのどの位置にあるか。最も適当なものを1つ選び、記号で答えなさい。



③ 図1の月が見られた日から、同じ時刻に同じ場所で1週間観察し続けたときの月の形と見える位置はどのように変わっていくか。最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 月の形は図1より満ちていき、月の見える位置は東の空へ変わっていく。
- イ 月の形は図1より満ちていき、月の見える位置は西の空へ変わっていく。
- ウ 月の形は図1より欠けていき、月の見える位置は東の空へ変わっていく。
- エ 月の形は図1より欠けていき、月の見える位置は西の空へ変わっていく。

(2) 図3は、太陽、金星、地球の位置関係を模式的に表したもので、図のP～Sは金星の位置を表している。これについて次の各問いに答えなさい。



① 図のPの位置に金星があるとき、金星はいつ頃、どの方位の空に見えるか。最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 明け方、東の空 イ 明け方、西の空
- ウ 夕方、東の空 エ 夕方、西の空

② 図のP～Sのうち、地球から金星を見たときに、金星の形が最も欠けて見えるのは金星がどの位置にあるときか。1つ選び、記号で答えなさい。

- (1)② 図2のAは上弦の月、Cは満月、Eは下弦の月、Gは新月の位置である。
- ③ 1週間後の月は図2のCの位置にある。月の公転の向きから、月を同じ時刻に同じ場所で観察すると、月の見える位置は東の空へ変わっていく。
- (2)① 図3の地球から見て、金星が太陽より東(左)にあるときは、夕方、西の空に見える。
- ② 欠け方が最も大きいのは、地球に最も近いQの位置にあるときである。

(1)	①	a	イ	b	イ
	②	A	37		
	③	ア	38		
(2)	①	エ	39		
	②	Q	40		